

A会場(大講堂)					B会場(大講堂)					C会場(204会議室 円卓)					D会場(203会議室)					E会場(201会議室)				
9:00	受付開始																				9:00			
9:25	委員長開会挨拶																				9:25			
	セッション テーマ	座長	タイトル	第一執筆者	所属	セッション テーマ	座長	タイトル	第一執筆者	所属	セッション テーマ	座長	タイトル	第一執筆者	所属	セッション テーマ	座長	タイトル	第一執筆者	所属				
9:30	気候変動・エネルギー	本下晶晴	小水力発電の導入に対する集落住民における電力用途の理解度が導入賛否に与える影響—中津川市加子母小集落の事例	松岡崇暢	日本福祉大学 まちづくり研究センター	環境教育・市民参加	中久保豊彦	住民主体の自然資源の保全活動における知識管理の実態と関係主体の役割—あびき温泉の保全活動を事例として	山口 創	神戸大学大学院農学研究科	気象・熱環境	笹田勝寛	ひまわり8号データによる春季日照時間の変化による地表温度日変化の変動	内田裕貴	日本大学生産工学部土木工学科	環境心理・情報/農村・都市・地域計画	大塚佳臣	富士山保全協力金の支払行動を規定する因子に関する研究	山本清龍	岩手大学農学部共生環境課程				
			木材利用の促進が都市と森林の炭素固定に与える影響—地理情報を用いた東海三県でのケーススタディ	小野 聡	名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻			熊本地震における西原村の災害対応と被災者の生活復興感・健康評価に関する研究	坪井隼太郎	公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構 人と防災			ライメーター法による実大高木樹木の植栽密度の違いによる蒸散量の差異の検証	手代木純	公益財団法人都市緑化機構 研究部			ベスト・ワースト・スケーリングによる国立公園施設整備事業への中国人観光客の重要度評価	安 可	長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科				
10:00		村野昭人	エネルギー教育が大学生の意識および行動に関する研究—講義による意識変化に関する一考察	和田有朗	滋賀県立大学環境科学部 環境政策・計画学専攻		舘澤道雄	台湾における環境教育法の施行と落着き型環境教育の実態	黄エン恵	京都大学学際融合教育推進研究センター・森里海産学大学院		長坂貞由	屋上緑化資材としての芝付きシラス固化ブロックの蓄熱緩和効果と保水性	鈴木弘孝	城西国際大学環境社会学部 環境社会学専攻			パネル調査を用いたハイブリッド車の保有と利用の分析	谷下雅義	中央大学・理工学部・都市環境学専攻				
10:30		松岡俊二	岐阜県長良川流域の社会・気候変動をめぐらすステークホルダーの関心事項の可視化の試み	若見麻子	東京大学大学院新領域創成科学研究科 環境学専攻 国際環境法政大学 地域研究センター		高山帯における絶滅危惧種ワイチョウの専門家調査と登山ツアーによる市民調査の特徴比較	小川結衣	筑波大学大学院生命環境科学研究所		平野勇二	移動観測手法に基づく東京都市街地の暑熱環境評価	河野恭佑	千葉工業大学大学院・工学専攻			京都府におけるソーシャル・キャピタルの規定要因—ボンド型とブリッジ型との比較	塚子悠	早稲田大学・アジア太平洋研究科					
			Structured Expert Dialogue における気候変動の気温目標の検討に関する考察: 1.5°Cと2°C	小坂真理	慶徳義塾大学政策・メディア研究科		呼倫湖自然保護区における地域住民と観光客の持つ観光に対する意識の違い	高橋正弘	大正大学人間学部人間環境学専攻			気象観測の風速・気温に基づいた寒冷地温室の熱負荷とエネルギー消費に関する研究	山崎 慶大	株式会社 竹中工務店 エコエンジニアリング			活力喚起型動画視聴と心理的レジリエンスとの関係性	阿部弘樹	創価大学大学院工学研究科					
11:00			気候変動報道に関する日米英比較—IPCC 第4次・第5次評価報告書に焦点をあてて	齋藤さやか	東京大学大学院情報学環総合防災情報研究科		野生復帰事業が行われている自治体での副読本教材の作成状況について	本田裕子	大正大学人間学部人間環境学専攻			路面電車停留場における暑熱対策効果の検証—被験者実験による心理生理的効果に関する考察	平田裕貴	大阪市立大学大学院工学系専攻			東大阪市の街路樹における市民要望と空間的・環境的要因の関係性	川口将武	大阪産業大学デザイン工学部建築・環境デザイン学専攻					
			限定要素安定同位体比に基づく藤沢市川名緑地におけるホテル類の食性解析	對馬孝治	日本大学生物資源科学部生物環境工学科		ウエスト・ピッカーを地域社会へ導入した環境教育の教材開発の内容及その方向性に関する考察—ハンダラシェ・クルナの事例から—	佐藤秀樹	公益財団法人日本環境教育フォーラム 国際事業部/東京農工大学大学院			内陸盆地の気候ストレス情報とその生理学的検証	大橋唯太	岡山理科大学・生物地球科学部										
11:30			固定資産価値評価のための学習効果を考慮したバイオマス発電コストモデルに関する研究	高木寛人	東京工業大学環境・社会理工学院融合理工		固定資産価値評価のための学習効果を考慮したバイオマス発電コストモデルに関する研究	高木寛人	東京工業大学環境・社会理工学院融合理工															
			神奈川県藤沢市における高濃度PM2.5の発生要因の検討	松永有加	日本大学生物資源科学部生物環境工学科		インドネシアの気候変動緩和対策の現状と実施上の課題	市原 純	JICAインドネシア事務所															
12:00			千葉県館山市におけるソーシャル・キャピタルの特性	田中紫織	東京工業大学環境・社会理工学院 融合理工																			
12:30			社会・経済条件を考慮したエコツアー・推進自治体の特徴抽出	海宝慎太郎	東京工業大学環境・社会理工学院 融合理工																			
			Promoting Sustainable Tourism in Coron Island, Palawan Province, Philippines – Policy Gap and Impact Analysis	小林正典	横浜国立大学																			
13:00			13:00~14:40																					
13:30			ワークショップ「涼しいまちをデザインしよう」—クールスポットからクールエリアへの展開—																					
14:00			15:00~17:20																					
14:30			一般公開シンポジウム「SDGsの達成に向けた多様な環境研究の取組みと今後の期待」																					
15:00																								
15:30																								
16:00																								
16:30																								
17:00																								
17:30																								
18:00																								
18:30																								
19:00																								
19:30																								

環境情報科学ポスターセッション
(11:00~13:00)
<出展予定ポスター46題>

○論文ポスター発表(発表時間:ポスターセッションと同様)

タイトル	第一執筆者	所属
限要素安定同位体比に基づく藤沢市川名緑地におけるホテル類の食性解析	對馬孝治	日本大学生物資源科学部生物環境工学科
固定資産価値評価のための学習効果を考慮したバイオマス発電コストモデルに関する研究	高木寛人	東京工業大学環境・社会理工学院融合理工
神奈川県藤沢市における高濃度PM2.5の発生要因の検討	松永有加	日本大学生物資源科学部生物環境工学科
インドネシアの気候変動緩和対策の現状と実施上の課題	市原 純	JICAインドネシア事務所
千葉県館山市におけるソーシャル・キャピタルの特性	田中紫織	東京工業大学環境・社会理工学院 融合理工
社会・経済条件を考慮したエコツアー・推進自治体の特徴抽出	海宝慎太郎	東京工業大学環境・社会理工学院 融合理工
Promoting Sustainable Tourism in Coron Island, Palawan Province, Philippines – Policy Gap and Impact Analysis	小林正典	横浜国立大学

ポスター展示

研究者交流会・ポスターセッション表彰式
(17:30~19:00) 予定